

令和3年度文京江戸川橋体育館避難所総合訓練の実施結果について

1 実施日時等

- (1) 日時 令和3年10月9日(土) 18時30分から20時15分まで
- (2) 場所 文京江戸川橋体育館
- (3) 参加者

No.	所属	人数
1	文京江戸川橋体育館避難所運営協議会	27
2	施設関係者	6
3	区職員	9
	合計	42

2 訓練内容

- (1) 文京区避難所運営ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策編」の説明
防災課より、ガイドラインの内容についての説明を行った。
- (2) HUG（避難所運営ゲーム）を使用した避難所運営体験
HUGを使用し、避難者を受け入れるイメージをしながら受付の設置場所や避難者の居住スペースの振り分け方法等を検討することで、避難所運営を疑似体験した。
- (3) 避難所開設キットによる初動対応訓練
避難所開設キットには発災から3時間以内にするべきことを記した行動手順書が入っており、行動手順書の解説動画の視聴や、現物の確認を行うことで、初動対応として必要な行動を確認した
- (4) 備蓄資機材の取扱確認
発電機や投光器の使用方法及びパーティションの組み立てから収納までの取扱い方の確認を行った。

3 参加者意見

- (1) HUG（避難所運営ゲーム）について
 - ・予想を超える避難者が次々に来所するイメージトレーニングを普段からしておかないと混乱することが分かった。
 - ・早い判断が必要だと思った。
 - ・想定外のことが多数起こり得るということをイメージできたことが大きなプラスと

なった。

- ・パーティション等のレイアウトはある程度あらかじめ決めておくと思った。
- ・感染症を考慮した居住スペースを考える必要があったので、以前よりも避難所運営が難しくなったと感じた。

(2) 避難所開設キットについて

- ・何度も見ないと理解し辛いと思った。
- ・実際に動いてみないとわからないと思った。
- ・あらかじめ避難所内のレイアウトを決めておき、キットの中に反映しておくと思った。
- ・開設キットというものがあることを初めて知り、実際に訓練を積んでいけば大変役に立つものだと感じた。
- ・開設キットを最初に開ける人の候補を数名でも決めておく必要があると思った。

(3) その他

- ・投光器やパーティション等は簡単に使用できたが、真っ暗な中でも展開できるように訓練が必要だと感じた。
- ・地震の規模や被害状況、避難所を運営できる人材がどれくらい集まるか等によって、運営の仕方も変わると思うので今後も検討を重ねていく必要があると思った。
- ・町会同士の連絡方法について、事前に決めておいた方が良かったと思った。
- ・少なくとも年に2～3回は訓練を実施した方が良かったと思った。
- ・どこに何があるかをあらかじめ皆が分かっているかどうかで初動が違ってくる感じたので、施設スタッフや町会の方を含めて施設内や倉庫を定期的に見て回る機会があると良かったと思った。
- ・感染リスクの高い食事やトイレ等をどのように運営していけばいいか学ぶ必要があると感じた。